



## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月12日

上場会社名 Sansan株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4443 URL <https://jp.corp-sansan.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役/CEO (氏名) 寺田 親弘  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員/CFO (氏名) 橋本 宗之 TEL 03 (6758) 0033  
四半期報告書提出予定日 2023年10月12日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益 (注1)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	7,504	31.3	143	-	120	-	110	-	25	-
2023年5月期第1四半期	5,714	24.3	△227	-	△265	-	△173	-	△325	-

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 49百万円 (-%) 2023年5月期第1四半期 △282百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 (注2)
2024年5月期第1四半期	円 銭 0.21	円 銭 0.20
2023年5月期第1四半期	△2.61	-

(注) 1. 調整後営業利益：営業利益 + 株式報酬関連費用 + 企業結合に伴い生じた費用（のれん償却額及び無形固定資産の償却費）

2. 2023年5月期第1四半期は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	31,625	13,427	40.5
2023年5月期	31,200	13,190	40.6

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 12,821百万円 2023年5月期 12,660百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年5月期	-	-	-	-	-
2024年5月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	32,653 ～33,674	28.0 ～32.0	1,240 ～1,852	31.7 ～96.6

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 営業損益以下の段階損益については、当社の株価水準によって大きく変動する可能性のある株式報酬関連費用や、一部の営業外損益等の合理的な見積もりが困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年5月期1Q	125,530,452株	2023年5月期	125,410,584株
2024年5月期1Q	871株	2023年5月期	871株
2024年5月期1Q	125,440,913株	2023年5月期1Q	124,975,016株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションの下、「ビジネスインフラになる」というビジョンを掲げ、クラウドソフトウェアにテクノロジーと人力によってアナログ情報をデジタル化する仕組みを組み合わせた手法を軸に、人や企業との出会いをビジネスチャンスにつなげる、働き方を変えるDXサービスを提供しています。

具体的には、企業の営業活動や請求書業務、契約書業務等に対して、デジタルトランスフォーメーション(DX)を促進するサービスを展開しており、DXへの意識改革やコロナ禍による働き方の変化、SaaSビジネスへの関心の高まり等によって、DX市場は2030年度に5兆1,957億円(2020年度比3兆8,136億円増)(注1)、国内SaaS市場は2026年度に1兆6,681億円(2022年度比5,790億円増)(注2)の規模に達すると予想されています。当社が提供する営業DXサービス「Sansan」は、法人向け名刺管理サービス市場において81.6%のシェア(注3)を占めており、同市場は当社サービスの成長等につれて、2013年から2021年にかけて約14倍に拡大しています。また、当社が提供するインボイス管理サービス「Bill One」は、クラウド請求書受領サービス市場においてNo.1の売上高シェア(注4)を獲得しており、2021年度の同市場は、前年同期と比べて226.0%増加しています。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	5,714	7,504	+31.3%
売上総利益	4,930	6,510	+32.0%
調整後営業利益	△227	143	-
経常利益	△173	110	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△325	25	-

当第1四半期連結累計期間においては、中期的な売上高成長及び調整後営業利益率の向上に向け、「Sansan」や「Bill One」では、好調な受注状況を背景に各営業体制の強化やサービスの機能拡充を行いました。また、「Eight」においてはデジタル名刺交換と名刺管理に特化したアプリへのコンセプト変更に向けた開発を行いつつ、収益化にも取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比31.3%増、売上総利益は前年同期比32.0%増、売上総利益率は86.8%(前年同期比0.5ポイント増)となり、好調な実績となりました。調整後営業利益は、前年同期と比較して、売上高の成長や広告宣伝費の減少等により143百万円の黒字となりました。また、調整後営業利益が黒字化したこと等により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は黒字となりました。

- (注) 1. 「2022 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編、バンター戦略編」富士キメラ総研  
2. 「ソフトウェアビジネス新市場 2022年版」富士キメラ総研  
3. 「営業支援DXにおける名刺管理サービスの最新動向2023」(2022年12月 シード・プランニング調査)  
4. デロイト トーマツ ミック経済研究所「驚異的な成長が見込まれるクラウド請求書受領サービス市場の現状と将来」(ミックITレポート2022年7月号)

セグメント別の業績は以下の通りです。

①Sansan/Bill One事業

当事業セグメントには、営業DXサービス「Sansan」やインボイス管理サービス「Bill One」等のサービスが属しています。

当第1四半期連結累計期間におけるSansan/Bill One事業の成績は以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高(注5)	5,147	6,816	+32.4%
「Sansan」	4,701	5,439	+15.7%
「Sansan」ストック	4,451	5,114	+14.9%
「Sansan」その他	250	324	+29.8%
「Bill One」	401	1,160	+189.2%
その他	44	216	+385.9%
調整後営業利益	1,221	1,899	+55.5%
「Sansan」			
契約件数	8,644件	9,067件	+4.9%
契約当たり月次ストック売上高	173千円	189千円	+9.2%
直近12か月平均月次解約率(注6)	0.59%	0.46%	△0.13pt
「Bill One」			
MRR(注7)	140	404	+187.4%
有料契約件数	930件	1,952件	+109.9%
有料契約当たり月次ストック売上高	151千円	207千円	+37.1%
直近12か月平均月次解約率(注6)	0.45%	0.56%	+0.11pt

(注) 5. 外部顧客への売上高及びセグメント間の内部売上高または振替高の合計値

6. 各サービスの既存契約の月額課金額に占める、解約に伴い減少した月額課金額の割合

7. Monthly Recurring Revenue(月次固定収入)

a.「Sansan」

「Sansan」の契約件数及び契約当たり月次ストック売上高のさらなる拡大に向け、機能拡充に取り組むとともに、営業体制を強化しました。具体的には、顧客とのメールを自動的に「Sansan」に蓄積し、メールの送受信等の接点情報を可視化する機能を搭載しました。ユーザーは、これらの接点情報と100万件以上の企業情報を組み合わせ、接点のない企業の情報も含めた利用企業ならではのデータベースを「Sansan」上に構築することが可能となりました。また、「Sansan」の売上最大化を目的として、他のサービスと共通化した営業体制から、「Sansan」に特化した専属の営業体制に変更しました。

これらの結果、主に中堅・大企業の新規契約獲得が進み、「Sansan」の契約件数は前年同期末比4.9%増、契約当たり月次ストック売上高は前年同期比9.2%増となりました。また、直近12か月平均月次解約率は0.46%(前年同期比0.13ポイント減)となり、1%未満の低水準を維持しました。

この結果、「Sansan」売上高は前年同期比15.7%増、うち、固定収入であるストック売上高は前年同期比14.9%増、その他売上高は前年同期比29.8%増となりました。

b.「Bill One」

「Bill One」の高成長継続に向け、積極的な人材採用を通じて営業体制を強化したほか、法人カード「Bill Oneビジネスカード」をリリースする等、さらなる機能拡充に取り組みました。

これらの結果、2023年8月におけるMRRは前年同月比187.4%増、ARR(注8)は4,859百万円となりました。また、中堅・大企業の新規契約獲得が進み、有料契約件数は前年同期末比109.9%増、有料契約当たり月次ストック売上高は前年同期比37.1%増となりました。また、直近12か月平均月次解約率は0.56%(前年同期比0.11ポイント増)となり、1%未満の低水準を維持しました。

この結果、「Bill One」売上高は前年同期比189.2%増となりました。なお、人材採用やマーケティング活動の強化、サービスの機能拡充等を進めることで、2024年5月におけるARRは70億円以上を目指しています。

(注) 8. Annual Recurring Revenue (年間固定収入)

c. その他

既存サービスで培った強みや知見、ノウハウ等を活かして、契約DXサービス「Contract One」等の立ち上げに注力しました。また、2023年3月に連結子会社化したクリエイティブサーベイ株式会社の業績が前第4四半期連結会計期間より寄与しています。

この結果、その他売上高は前年同期比385.9%増となりました。

以上の結果、Sansan/ Bill One事業の売上高は前年同期比32.4%増となりました。調整後営業利益は売上高の好調な成長に伴って利益率が改善し、55.5%増となりました。

## ②Eight事業

当事業セグメントには、名刺アプリ「Eight」やイベント書き起こしサービス「logmi」シリーズが属しています。  
当第1四半期連結累計期間におけるEight事業の成績は以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高(注9)	533	599	+12.4%
BtoCサービス	72	81	+12.1%
BtoBサービス	460	518	+12.4%
調整後営業利益	△135	△91	-
「Eight」			
「Eight」ユーザー数(注10)	315万人	337万人	+21万人
「Eight Team」契約件数	3,008件	4,023件	+33.7%

(注) 9. 外部顧客への売上高及びセグメント間の内部売上高または振替高の合計値

10. アプリをダウンロード後、自身の名刺をプロフィールに登録した認証ユーザー数

## a. BtoCサービス

コロナ禍収束に伴うビジネスの正常化やデジタル名刺交換等の機能拡充により、「Eight」ユーザー数は堅調に増加し前年同期末比21万人増の337万人となり、BtoCサービス売上高は前年同期比12.1%増となりました。

## b. BtoBサービス

各種BtoBサービスのマネタイズ強化に取り組んだ結果、BtoBサービス売上高は前年同期比12.4%増となりました。また、「Eight Team」の契約件数は前年同期末比33.7%増となりました。

以上の結果、Eight事業の売上高は前年同期比12.4%増、調整後営業損失は前年同期と比較して44百万円縮小しました。

なお、「Eight」は「商談時の名刺切れ」や「交換した名刺の紛失」といった紙の名刺に関する課題を解決し、名刺情報をスマートに管理・活用することを目的として、2023年9月にキャリアプロフィール「Eight」から名刺アプリ「Eight」にコンセプトを変更し、従来のデジタル名刺交換や名刺管理機能に加え、新規にタッチ名刺交換の機能を搭載しました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結累計期間	前連結 会計年度末比
資産合計	31,200	31,625	425
負債合計	18,009	18,198	188
純資産合計	13,190	13,427	236
負債純資産合計	31,200	31,625	425

## (資産)

当第1四半期連結累計期間末における資産合計は31,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ、425百万円増加しました。これは主に、前払費用の増加398百万円、のれんの増加296百万円及び敷金の増加899百万円、現金及び預金の減少506百万円及び売掛金の減少515百万円によるものです。

## (負債)

当第1四半期連結累計期間末における負債合計は18,198百万円となり、前連結会計年度末に比べ、188百万円増加しました。これは主に、顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等による前受金の増加1,102百万円、買掛金の減少151百万円、未払金の減少384百万円、未払法人税等の減少134百万円、賞与引当金の減少221百万円及び長期借入金金の減少135百万円によるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産合計は13,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ、236百万円増加しました。これは主に、新株予約権の行使による資本金の増加51百万円及び資本剰余金の増加51百万円及び非支配株主持分の増加82百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想については、2023年7月13日に公表した内容から変更はありません。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	21,114	20,607
売掛金	1,180	664
前払費用	604	1,002
その他	341	309
貸倒引当金	△32	△33
流動資産合計	23,207	22,550
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	770	748
無形固定資産		
ソフトウェア	827	797
のれん	706	1,002
その他	0	0
無形固定資産合計	1,533	1,800
投資その他の資産		
投資有価証券	3,705	3,723
敷金	885	1,784
繰延税金資産	595	513
その他	502	503
投資その他の資産合計	5,689	6,525
固定資産合計	7,993	9,075
<b>資産合計</b>	<b>31,200</b>	<b>31,625</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	338	186
1年内返済予定の長期借入金	558	550
未払金	1,929	1,544
未払法人税等	206	71
未払消費税等	410	363
前受金	10,729	11,831
賞与引当金	601	379
その他	207	268
流動負債合計	14,982	15,196
固定負債		
長期借入金	2,838	2,703
退職給付に係る負債	-	50
役員退職慰労引当金	-	53
その他	188	194
固定負債合計	3,027	3,002
負債合計	18,009	18,198
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,582	6,633
資本剰余金	4,178	4,229
利益剰余金	1,695	1,721
自己株式	△2	△2
株主資本合計	12,454	12,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156	178
為替換算調整勘定	49	60
その他の包括利益累計額合計	206	238
新株予約権	457	450
非支配株主持分	72	155
純資産合計	13,190	13,427
負債純資産合計	31,200	31,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	5,714	7,504
売上原価	784	994
売上総利益	4,930	6,510
販売費及び一般管理費	5,196	6,389
営業利益又は営業損失(△)	△265	120
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	1
助成金収入	3	1
投資有価証券売却益	291	-
保険解約返戻金	-	12
その他	1	3
営業外収益合計	297	18
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	12	7
支払手数料	1	0
持分法による投資損失	179	-
投資事業組合運用損	1	9
その他	7	7
営業外費用合計	204	28
経常利益又は経常損失(△)	△173	110
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△172	111
法人税、住民税及び事業税	4	16
法人税等調整額	144	78
法人税等合計	149	95
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△322	16
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△325	25

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△322	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	21
為替換算調整勘定	13	11
その他の包括利益合計	39	32
四半期包括利益	△282	49
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△286	58
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△9

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	Sansan/Bill One事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,146	533	5,680	34	5,714
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	0	0	21	21
計	5,147	533	5,680	55	5,736
セグメント利益または損失 (△) (注) 2	1,221	△135	1,086	△9	1,077

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。

2. セグメント利益または損失(△)は、営業利益または損失(△)に株式報酬費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

(単位:百万円)

	Sansan/Bill One事業	Eight事業	その他	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
セグメント利益または損失(△)	1,221	△135	△9	△1,304	△227
株式報酬費用	12	5	-	12	31
のれん償却額及び無形固定資産 の償却費	-	5	1	-	6
営業利益または損失(△)	1,208	△145	△10	△1,317	△265

(注) 調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益または損失の測定方法の変更)

従来、セグメント利益または損失(△)を営業利益または損失(△)にて表示していましたが、当第1四半期連結会計期間より経営上重視する業績評価指標を当社の株価水準に応じて大きく変動する可能性のある株式報酬関連費用や企業結合に伴い生じる費用を控除した恒常的な企業の収益力を表す指標に変更したことに伴い、営業利益または損失(△)に株式報酬費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	Sansan/Bill One事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,814	599	7,413	90	7,504
セグメント間の内部売上高 または振替高	1	0	2	27	29
計	6,816	599	7,416	117	7,534
セグメント利益または損失 (△) (注) 2	1,899	△91	1,808	△26	1,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。

2. セグメント利益または損失(△)は、営業利益または損失(△)に株式報酬費用及び企業結合に伴い生じた費用(のれん償却額及び無形固定資産の償却費)を加えた調整後営業利益または損失(△)にて表示しています。

(単位: 百万円)

	Sansan/Bill One事業	Eight事業	その他	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
セグメント利益または損失(△)	1,899	△91	△26	△1,638	143
株式報酬費用	△0	△0	-	△3	△5
のれん償却額及び無形固定資 産の償却費	12	5	9	-	27
営業利益または損失(△)	1,887	△95	△36	△1,635	120

(注) 調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に株式会社言語理解研究所の株式を取得し、同社を連結の範囲に含めています。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては316百万円です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。